



碧 空

第 5 号

創立 70 周年記念 PTA 人権教育講演会 猿まわし師 村崎 太郎さん

「君たちはいきいきと生きているか？～差別されてきた立場から～」

11 月 10 日(金)に、講師に猿まわし師の村崎太郎さんを講師にお招きし、PTA 人権講演会が開催されました。村崎さんは、日本の伝統的な猿まわし芸に漫才などの要素を取り入れ発展させ、多方面で精力的にご活躍されています。猿の次郎の「反省ポーズ」でお馴染みですね。今や、海外でも多くの公演をされています。この日も 100 名近くの地域の皆様、保護者の皆様にも参加していただき、差別を許さない心をもつこと、差別をなくすために行動することの大切さを考えることができました。



2頭の猿、サクラちゃんとツクシくんが村崎さんと一緒に常盤中に来てくれました。短い時間でしたが、素晴らしい芸を披露してくれました。



村崎太郎さんの講演から(抜粋)

「自分は関係ない」と思われているかもしれないが、差別問題はいろいろある。中でも複雑化して、今も残っているのが部落差別です。

差別が残っていることは、君たちにとって不幸なこと。猿まわしも「猿ごとき」と思っているとはできない。(猿への)尊敬なくして猿は扱えない。**人と人が尊び合い、共存して行く世界でありたい。**感謝の気持ちが大切。

私は今、被差別部落に生まれ、世界中の人に笑ってほしいと願っている。芸を見て笑ってほしい。**そして、みんなに夢をたくさんもってほしいと願っている。**

終わりに、正副人権委員長がお礼の言葉を伝え、花束を贈呈しました。



生徒の感想から

小学校では、あまり人権について深く考えていなかった。中学校で学び、考え方が変わった。

差別は昔行われていた物で、今はほとんどないと思っていたが、実際はとても多く残っていることを知り驚いた。これからは、まだ残っている人権問題を知り、差別を減らすだけでなく、なくしていきたい。

保護者の方の感想から

日頃、自分のことを見つめることがなかったが、村崎さんの話を聞き自分自身を見つめることの大切さに気づいた。人が人を差別することは許されないことだが、気づかないうちに差別しているかも、と考えさせられた。(中略)

すべての人間が必要な存在である。「生き年生けるものすべてがいとおしく思える」そんな自分になりたいと思います。